

目 次

館蔵資料紹介 No. 32

フィールドワークと図書館	林 琢也…………… 1
寄贈図書一覧（平成25年7月～12月）	…………… 3
図書館本館が新しくなりました	…………… 4

情報の探し方（7）

図書館の資料を探すとき OPAC	…………… 6
お知らせ	…………… 8

館蔵資料紹介 No. 32

フィールドワークと図書館

林 琢 也



私は地理学を専門としており、研究を進める際には、研究対象とする場所へ赴き、関係者への聞き取りやアンケート調査を行っている。また、必要に応じて地域の佇まいを探るための景観観察や土地利用調査を行うとともに、地域内の人間関係やネットワークを把握するために地元の集会や会合に参加することもある。私の場合、農村や観光地を研究対象（フィールド）としているため、当該地域で農業や観光業に従事している方々や関係機関を対象に可能な限り多くの人々の話や声を拾うようにしている。

こうした調査地での聞き取りや情報収集は、何度も足を運び、調査の趣旨や意義を理解してもらった上で行うことが効果的である。良好な人間関係を構築することで貴重な資料や内部の込み入った事情や裏話を教えてもらうことが可能となり、それ自体がフィールドワークの醍醐味であることは言うまでもない。しかしながら、地理学における地域調査とは、単に現地を訪れて話を伺ったり、資料やデータを収集すればよいというものではない¹⁾。

なぜならば、日本国内での調査の場合、既に同地域を対象とした様々な概説書や歴史書、研究書（専

門書）、学術論文等が存在していることが多いからである。さらに、情報・通信技術の発達した現在では、調査の前段階においてかなりの情報（統計データ）や知識を手に入れることが可能である。予め調査対象とする地域の歴史や地勢、産業などに関する状況を把握した上で訪問することは調査自体をスムーズなものにしてくれる。

このため、私は国内のある地域を調査する際には、必ずと言っていいほど、本学図書館にも所蔵されている『角川日本地名大辞典』（角川書店）^{*1}や『日本地誌』（二宮書店）^{*2}、『日本の地誌』（朝倉書店）^{*3}といった書籍や調査地となる自治体の発行する『市町村誌（史）』等を利用して該当する地域の状況について整理することを心がけている。また、対象とする地域について書かれた多様な分野の専門書や概説書も渉猟するようにしている。

例えば、昨年は学生とともに世界遺産・白川郷（岐阜県白川村）の調査を行った。3年生を対象とした「地域学実習」という前期に開講する調査実習の科目であるため、4月～6月までは主に調査地域に関する既往の文献や論文を学生に読んでもらい、地域

の特徴を把握した上で調査課題を決めて6月末の現地調査に臨んだ。こうした地域を調査する際には、前述したような図書を用いて概要を把握するのが、それとともに利用するのが、OPAC WWW 検索サービスである。これによって、当該地域のことを記した専門書や資料がまずは本学の図書館内にどれだけあるのかを検索することができる。例えば、「白川郷」と打つと10件の図書がヒットし、「白川村」と打つと18件の図書がヒットする。こうして館内に所蔵されている図書をまずは確認するのである。もちろんCiNiiやJ-STAGEを利用して同様に学術論文についても検索するし、本学の図書館にない書籍は研究費や個人で購入するようにしている。絶版の場合には学外の図書館から相互利用で取り寄せる場合もある。その他にも、同じような研究課題に取り組んでいる学術書から他地域の状況や特徴を把握し、自らの調査や研究の一般化・相対化を図るといった作業を行う場合もある。また、理論や研究の分析枠組みを深めていくため、人文・社会科学に関連する書籍には日常的に触れている。このため、フィールドワーク中心の研究をしているとは言うものの、図書館にはかなりお世話になっている。つまり、地理学の地域調査とは、フィールドワークとデスクワークの相互作用によって深化していくものなのである。

昨年(2013年)2月に私は『長良ぶどう発達史』を刊行した(写真1)*4。この書籍は、岐阜市長良地区におけるぶどう栽培の歴史を生産者や関係機関への聞き取りと資料の収集によってまとめたものである。自治体の発行する市町村誌よりも狭い範囲(市内の一地区)を対象にした、しかも農業のなかでも果樹(ぶどう)の栽培や販売方法の変遷、生産者の方々の努力の経過を整理した「ローカルな農業史」である。

私はこれまで日本の観光農園や農家直売所、農家民宿、農家レストラン、市民農園・農業体験農園といった農業に観光やレクリエーションの要素を組み合わせた農家経営の戦略や発展のための関係者間の連携やネットワークのあり方について研究を行ってきた。その意味では岐阜市内の長良地区ではぶどう狩りや直売、農業体験(援農プロジェクト)、小学生の農業学習といった活動が積極的に行われており、これまで私が研究してきたテーマと関連するよ

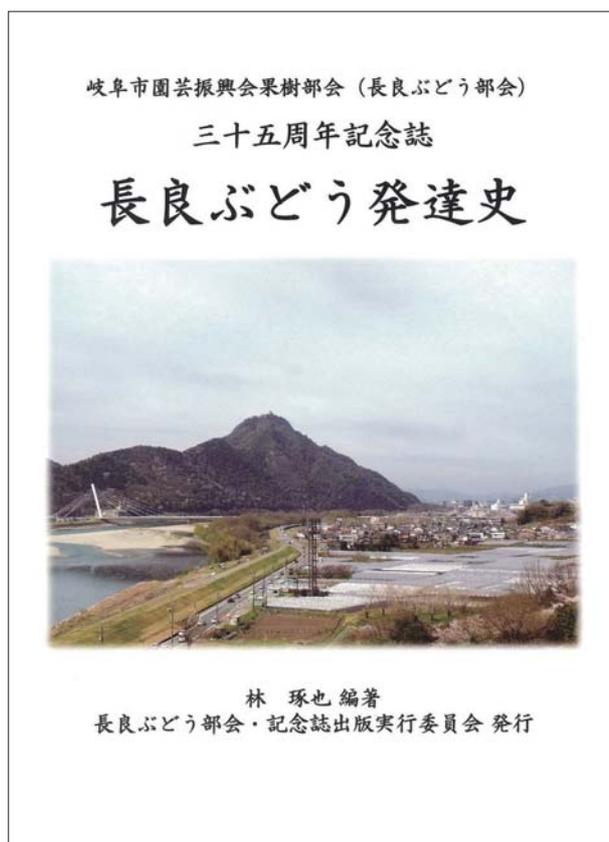


写真1 『長良ぶどう発達史』の表紙

うな内容が数多く存在した。また、同地区での調査を開始する以前から東京都内を事例に都市農業の研究も行っており、近郊農村としての性格も有している長良地区は、そういった視点からも興味をひくフィールドであった。当初はこのような書籍を作成したいという意識はなく、単に「長良ぶどう」の現状について調査してみたいという気持ちのみであったが、調査のために長良地区の生産者や農協職員の方々と話をするなかで、「長良ぶどう」の歩みをまとめる記念誌を作成したいという強い思いの存在を知り、協力したいと思うようになった。

こうした書を作成することの第一の目的は、前述したように、生産者の方々が当地のぶどう栽培の歩みをしっかりと整理したいという思い(願い)を強くもっており、そうした気持ちに応えたいと考えたことである。また、周辺の多くの住民の方々にも地域の農業の歴史や先人の努力を知ってもらうことが必要ではないかと感じたことも大きな要因である。都市近郊での農業は様々な困難を抱えており、営農

環境を良好に保つためには周囲の住民（非農家）の理解や協力は不可欠である。長良地区は岐阜市周辺においてぶどう栽培の盛んな地域と認識されているものの、それを丁寧に整理した書籍はなく、生産者のもとより、農業体験学習を行う小学校などの学校機関でも必要性を感じていたようであった。こうした現状をふまえ、長良地区のぶどう栽培を通史的に整理するとともに、現状や抱える課題にまで言及した内容の書籍が地元の図書館にもあることが重要ではないかと感じたのである²⁾。加えて、知名度の大小や影響力の強弱に関わらず、ある特定の地域内の取り組みに光を当て、時代の一側面を丹念に整理し、記述することは地理学者の社会に対する重要な役割の1つであると考えようになったことも影響している。2年間の調査でまとめたものであり、私の能力の問題もあって、物足りない箇所も少なくないが、こうした図書の存在が郷土への誇りの醸成や地域農業の振興に繋がってくれば望外の喜びである。

地域に開かれた図書館は、大手出版社や学術書などでは取り扱われないような、その地域ならではの地理や歴史に関する蔵書の充実を図っていくことも不可欠であろう。そうした場面において、フィールドワークを主たる研究手法としている研究者が貢献

できることは案外多いのかもしれないと、この小論を執筆しながら強く感じている。

注

- 1) 地理学における地域調査の方法については、本学図書館所蔵の村山祐司編（2003）：『シリーズ<人文地理学> 2 地域研究』（朝倉書店）^{*5}や市川健夫（1987）：『フィールドワーク入門：地域調査のすすめ』（古今書院）^{*6}などが詳しいのでそちらを参照して欲しい。
- 2) 地域の方々の手にすぐにとってもらえるよう、岐阜市立図書館及び岐阜県図書館にも配架してもらっている。

（はやし たくや：地域科学部助教）

岐阜大学図書館所蔵情報

- * 1 本館集密書庫 5 請求記号 291 Kad ほか
- * 2 本館参考 請求記号 291.08 NIH ほか
- * 3 本館3階 請求記号 291.08 Nih
- * 4 本館3階 請求記号 625.61 Nag
- * 5 本館3階 請求記号 290.1 Sir
- * 6 本館3階 請求記号 611.92 Iti

寄贈図書一覧（平成25年7月～12月）

平成25年7月～12月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございます。引き続き、ご寄贈をお願いいたします。

●向井貴彦（地域科学部）

- ・見えない脅威“国内外来魚” どう守る地域の生物多様性

【本館3階 487.521||Nih】

●山崎仁朗（地域科学部）

- ・地域自治の最前線 新潟県上越市の挑戦

【本館3階 318.241||Tii】

●寺島隆吉（元教育学部）

- ・英語教育が亡びるとき 「英語で授業」のイデオロギー

【本館3階 375.893||Ter】

図書館本館が新しくなりました

平成26年1月に本館2階の改修工事が完了しました。カウンターも新しくなり、さらに、1階にあった事務室が2階に引越し、カウンターと一体になって業務を行っています。

そこで、図書館ツアーのように利用案内をしつつ、新しくなった図書館を紹介します。

今回の改修で本館2階は、以下のような配置に変わりました。



以前は、玄関に入ってすぐのところ、3階に上がる階段がありましたが、その階段を撤去しました。



そのため、玄関を抜けると陶壁画「寸胴譜」が一望できるようになりました。作者は九谷興子氏で、両側面には詩が刻まれています。

そして、その左側にサービスカウンターと入退館ゲートがあります。入退館ゲートは、右側通行です。



学生証をカードリーダーにかざすとゲートが開きます。学生証を忘れてしまった方は、左にある窓口で声をかけてください。帳簿に名前を記入すれば入館できます。ただし、図書を借りることはできません。

ゲートを通ると左にサービスカウンターがあります。



サービスカウンターでは、図書館利用に関することであれば何でも対応しています。図書の貸出返却、グループ学習室や視聴覚コーナーの利用などはもちろんのこと、レファレンス（探しもの・調べもの相談）についても、お気軽にご相談ください。

次のようなサービスも行っています。

- ・他大学図書館からの資料の取寄せ
岐阜大学図書館にない資料は、他大学図書館等から取り寄せることができます。図書の場合は、現物の取寄せができます。ただし、取り寄せた図書は図書館外に持ち出せません。平日9時から17時までの間に館内で利用していただきます。料金は、図書の往復の送料が必要です。雑誌の場合は、論文ごとにコピーの取寄せができます。料金は、モノクロ1枚35円～50円程度、カラー1枚70円～120円程度の複写料と送料です。
- ・卒業・修士・博士論文執筆のための長期貸出
カウンターに申込書がありますので、それに必要事項を記入し、指導教員の署名をいただいた上で、平日9時から17時までの間に借りたい図書と一緒にカウンターに提出します。20冊まで60日間借りることができます。
- ・岐阜県図書館で借りた図書・雑誌の返却
平日9時から17時までの間に岐阜県図書館の貸出証および貸出期限票（レシート）と一緒に返却したい図書・雑誌を提出してください。延滞している場合は返却できません。学内者のみ。

ゲートを通ってまっすぐに進むと、図書の自動貸出返却装置と現金用コピー機が並んでいます。



3台ある自動貸出返却装置の内、右の1台は返却専用、中央と左の2台は貸出・返却・延長のすべてに対応しています。

学生の貸出冊数は5冊、期間は2週間です。3回まで延長することができます。延滞すると、延滞した日数分貸出ができなくなります。

現金用コピー機は、申込みが必要ですので、サービスカウンターにお越しください。利用時間は、平日9時から17時までです。料金は、モノクロ1枚20円（学内者）です。

その先の壁面には新着図書コーナーがあります。



新たに図書館に入った図書は、まずここに2週間から1か月ほど並びます。

ゲートを通って右に進むと、公費用コピー機2台と生協コピーカード用コピー機1台が並んでいます。



右の机を挟んだ2台が公費用、左の1台が生協コピーカード用です。

公費用コピー機の利用を希望する学生の方は、指導教員に相談してください。

生協コピーカード用コピー機は、生協で販売しているコピーカードでコピーができます。開館時間内であればいつでも利用でき、料金もモノクロ1枚1

度（ほぼ10円）、カラーコピーもできて1枚5度です。現金用コピー機よりも便利で安価ですので、多くの資料を図書館でコピーする予定があれば、このコピー機の利用をお勧めします。

それから、新たにブラウジングコーナーを設けました。新着雑誌の棚とソファやハイテーブル、簡単に動かすことができるかわいらしいツールがあって、図書館の中でも色鮮やかな空間になりました。好きな雑誌をばらばらと読みながらくつろいでみたいと思っています。



左の写真のハイテーブルは、読書にも勉強にも使えそうです。右の写真の緑と橙の丸い物はツールです。

～今後の計画について～

新棟2階には、学生のみなさんの自主的・主体的な学習の空間としてラーニング・コモンズを設ける計画を立てています。ラーニング・コモンズでは学生のみなさん自身の発想による多様な学習形態の展開に期待しています。それに併せて、2階全体をラーニング・コモンズとして捉え直して、再構成していく予定です。

新棟3階には、閲覧コーナーを設けますが、旧来の閲覧席よりもゆったりと机・椅子を配置し、図書を開いて学習する場合にも十分なスペースが確保できるようにします。

以上のように構成することによって、2階は学生のみなさんの話し合う声や議論する声があちらこちらから聞こえる空間、3階は静かに図書を読んで学習したり、資料を広げて研究したりする空間にしたいと考えています。

今後の図書館の動向にご注目ください。

情報の探し方（7）図書館の資料を探すとき OPAC

今回は岐阜大学図書館にある資料を検索することができる図書館のシステム OPAC（オパック・オーパック）を紹介します。OPAC（Online Public Access Catalog）は、図書館にある図書・雑誌のデータベース（目録）をパソコンで検索できるようにしたもので、インターネットで公開しているので、どこからでもアクセスして利用できます。

岐阜大学図書館 OPAC（<http://opac.lib.gifu-u.ac.jp/opac/>）

1. 詳細検索画面



図書館 OPAC は、図書館にある資料を検索するシステムですので、論文の著者名や論題では検索することができません。雑誌に掲載された論文は、雑誌名を検索して、その雑誌が図書館にあれば、その論文が掲載された年、巻数・号数の分まであるかを確認するという手順で探します。

分野から探したいとき

OPAC では、分野を指定、選択して検索することができます。

図書館の図書は、日本十進分類法で分類されて、その分類番号が数字で背ラベルに表記されています。その数字を詳細検索画面の「請求記号」欄に入力して検索することで、同じ分類番号のついた図書を探することができます。



簡易検索画面の入力欄は「フリーワード」のみですが、詳細検索画面の「タイトル・ワード」「フルタイトル」「著者名」「出版者」「出版年(西暦)」「ISBN/ISSN」「件名」で検索したことになります。

「タイトル・ワード」は、書名・シリーズ名・内容注記を検索します。「フルタイトル」は、入力した語と完全に一致する書名を検索します。探している資料の書名が正確に分かっているときに使用します。

「著者名」に外国人名を入力するときは、日本語に翻訳された資料を探す場合であっても原綴り通りに入力して検索した方が正確です。

- △ エドガー・アラン・ポー
- Edgar Allan Poe

複数語で検索できます。AND 検索は、語と語をスペースで区切ります。どちらの語も含まれている資料が検索できます。OR 検索は、語と語を | で区切ります。どちらかの語が含まれている資料とどちらの語も含まれている資料が検索できます。NOT 検索は、検索する語と検索結果から除く語の間に ! を入れます。

請求記号欄の右にある「NDC分類一覧表示」アイコンをクリックすると分類番号の一覧表が表示されますので、ここから分類番号を選択することができます。ただし、ここからはおおざっぱな分類までしか選択できませんので、検索結果画面でさらに出版年で並べ替えたり、タイトルに含まれる言葉で絞り込んだりする必要があります。詳細な分類番号は、『日本十進分類法』(本館3階、医学図書館1階 014.45 Nih)という図書で調べることができます。

2. 検索結果画面

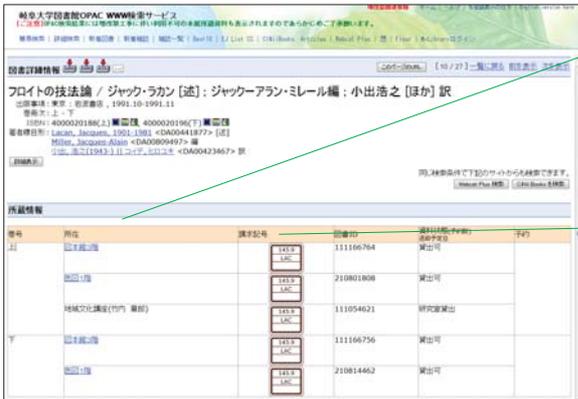


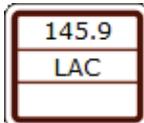
ここに資料区分が表示されています。()内の数字は該当件数です。左図では、赤字で表示されている「図書」が選択されていますので、現在の画面には今回の検索に該当する「図書」が表示されていることとなります。

検索結果を「タイトル」「著者名」「出版社」でさらに検索して絞りこむことができます。「タイトル」「著者名」「出版年」を昇順、降順で並び替えることができます。出版年を降順で並び替えれば、最新の資料から順に見ることができます。

3. 検索結果の詳細情報画面

A. 図書



図書の探し方
1. 所在を確認します。
その図書が配架されている書架の場所が表示されています。
・「図」から始まる → 図書館本館内の書架
・「医図」から始まる → 医学図書館内の書架
・研究室の名称 → 研究室
クリックすると、所在が地図で表示されます。
2. 請求記号(図書の背ラベル)を確認します。
 ← 分類番号
← 著者記号
3. 所在に表示された場所に行き、表示された分類番号の書架で、著者記号を探します。

B. 雑誌



雑誌の探し方
1. 巻号を確認します。
雑誌はあっても、探している巻号(何年何月号)はないということもあります。
2. 所在を確認します。
図書と同じ要領です。
3. 和雑誌は 50 音順、洋雑誌はアルファベット順に並んでいます。

C. 電子ジャーナル



電子ジャーナルの使い方
1. 岐阜大学内のパソコンからアクセスします。
2. 探している巻号の出版年が利用できる期間に入っていることを確認します。
3. 接続 URL をクリックします。
4. 電子ジャーナルの WEB サイトが表示されるので、探している巻号(出版年)、ページをたどります。
5. ほとんどの場合、PDF ファイルをダウンロードすることができます。

/// お 知 ら せ ///

利用できない資料があります

次の資料は、図書館本館の増改築工事のため、平成26年5月（予定）まで利用することができません。

- ・ 積層書庫 4 階の洋書
- ・ 積層書庫 2・3 階の雑誌バックナンバー、紀要、報告書
- ・ 集密書庫 3 の一部の資料

ご迷惑をおかけしますが、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

テーマ展示を行っています

図書館本館では、テーマを設定してそのテーマに関する展示を行っています。

第1回目の展示テーマは「キャリア関係図書」でした。キャリアセンターの児島功和先生にご協力をお願いし、大学を卒業して社会に出ていくみなさんに是非読んでもらいたいと思う図書を並べました。

3月からは、第2回目の展示が行われています。テーマは「東日本大震災」です。地震が発生したそのときに何が起こったのかを焦点として、手取りやすい、平易に書かれた図書を集めました。

テーマ展示は、本館2階入退館ゲート付近で行っています。

気に入った図書は借りることもできますので、どうぞご覧ください。



ERIC のデータベースが使えます

アメリカのERIC (Educational Resources Information Center) のデータベースは、雑誌に掲載された教育学関係の論文のデータベース CIJE (Current Index to Journals in Education) と教育学関係の図書、報告書、カリキュラムなど非雑誌刊行物のデータベース RIE (Resources in Education) からなっており、海外の教育学関係の論文、報告書などを検索することができます。1966年以降のデータが収録されており、資料によっては、全文が公開されています。

学内のパソコンから 図書館ホームページ→学術情報→オンライン文献検索「ERIC (教育学分野文献データベース)」にアクセスしてください。